



性格は真面目というピオレドール。小顔タイプでまだ幼い感じが残っています

# 小島友実の あの馬の **STORY**



ピオレドール

戦(トト)」<sup>1</sup>とし、レースではペイター・ターナーがつかず、後方からの競馬で、ドキドキされた余韻もこじりしゃつたのではないか。結果はペローペーベで先行馬が止まらない中、大外から追い上げて5着。レース後、騎乗した大野拓弥騎手は、「ペーターはもうやっと感じました。道中は充分良く走れて操縦のしやすい馬ですね。最後は良い脚を使ってくれたので、今後が楽しみです」と語る。その後、最後の脚がメンバー中、最速の34秒だったので、今後が楽しみですね」と語る。その後、最後の脚がメンバー中、最速の34秒だったので、今後が楽しみですね」と語る。その後、最後の脚がメンバー中、最速の34秒だったので、今後が楽しみですね」と語る。

恵ですね。最後は良い脚を使ってくれたので、今後が楽しみです」と語るお二つの最後の脚がメンバー中、最速の34秒だったので、すかし今後に期待を抱かせる初戦となりました。

半兄のコペペクアースはワジオニーとKEー杯京都2歳ステークスで着、共同通信杯4着と早期から活躍。そして母の「スケリーン共々、グリーンハーツの馬で小笠厩舎に所属。母・兄に続いて預かる事になりた小笠調教師は「ホーメールの成長を当歳馬の頃から見てきたので成

トモが緩いじのせつべくアーバン似  
ていません。育成が順調に行いつゝアーバン  
セヒヘ入厩シゲーー試験に受かったので  
すが、緩い部分が残つてたので、一度放  
牧に出しました」

「辰巳へ来た時は体も立派で緩い感じがあつたものの、調教を重ねるにつれて強化して時計も出ないよつになつてしまつた。レベクターへは雄大な走りをかねていつもの10000メートルレースをあつたが、ピストレーデールセブンマークがありバナのあれ走つをかね馬なのでマイルでボルダーレースもあり。相手なりに走つてくれた結果、いつも楽しかつてゐる」

「レース一戦の前、いつも話してた小さな村匡弘厩務員も同様の手応えを感じておられたのです」

「順調に乗つ込まれたけれど、馬体が引き締まらず、良しフォームで走れるよといつたきつてます。馬房での様子ですか？」

手のかからなくて良くなつた。眞面目に話しつづけ、運動に行つてもほんじん暴れた事がありません。癖は誰かを呼んでくるのかな？　時々、馬房で「レース」と叫つておまわね（笑）。飼葉も食べます。内臓や脚力など心配な面がなくて、レース一戦が楽しくなるのです」

「つい迎えた11回のデビューウー戦。結果は先述の通りです。レースの後、再び小笠調教師にお話を伺いました。

「良化につつあります。がまだトントン緩めが残るので、スタートダッシュがつかないであります。でも直線はしっかりと走つています。まだ荒削りな内容ですが、能力を見せてくれましたね」

「初戦を走つての大きな疲れは無さない。」  
「初戦を走つての大きな疲れは無さない。」  
「初戦を走つての大きな疲れは無さない。」  
「初戦を走つての大きな疲れは無さない。」

## profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00～20:30)、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馳走染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba」をつけて現場への連載など活躍の場を広げている。